

氏名	大場 良子	部署	看護学科	職名	講師
研究分野	がん看護、緩和ケア、健康心理学				
学位	修士(カウンセリング)				
学歴	筑波大学大学院人間総合科学研究科博士前期課程				
経歴	2004年埼玉県立大学保健医療福祉学部助手、07年埼玉県立大学保健医療福祉学部助教、11年埼玉県立大学保健医療福祉学部講師				
所属学会(役職)	日本看護科学学会、日本看護教育学会、日本がん看護学会、日本ヒューマン・ケア心理学会、健康心理学会、日本カウンセリング学会、埼玉県立大学保健医療福祉科学学会				

### 【2015年度実績】

1. 研究業績					
	著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	(1)発行所、全ページ数 (2)雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ (3)学会名、開催都市	(1)(2)著者、編者名 (3)発表者(発表者は○印)	発行・発表年月
(1) 著作					
1	該当なし				
2					
3					
(2) 論文					
1	がん体験者を支援する市民サポーター養成に関するニーズ調査	共著	保健医療福祉科学、vol.5、P18-24	○佐伯理恵、鈴木玲子、大場良子、筑後幸恵、常盤文枝、星野純子、渋谷えり子、森山明美、川畑貴美子	2016.3
2					
3					
(3) 学会発表					
1	PBL・TBL混合型教育プログラムの評価ーグループ学習による課題解決能力の評価尺度の検討ー	共著	日本看護学教育学会第25回学術集会、徳島	○大場良子、常盤文枝、鈴木玲子、山口乃生子	2015.8
2	PBL・TBL混合型教育プログラムの評価ー批判的思考態度と社会人基礎力の視点からー	共著	日本看護学教育学会第25回学術集会、徳島	○常盤文枝、大場良子、鈴木玲子、山口乃生子	2015.8
3					
(4) その他					
1	シンポジウム「喪失とレジリエンス」	共著	日本ヒューマン・ケア心理学会学術集会第17回大会	○木村登紀子、○大場良子、○患者会、窪寺俊之	2015.9
2	交流セッション「問題解決力を育てる授業をいかにつくるか-Team Based Learningの実践と評価」	共著	日本看護学教育学会第25回学術集会	○鈴木玲子、常盤文枝、山口乃生子、大場良子、○齋藤美紀子、○永島美香	2015.8
3					
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称	研究名、研究代表者・研究分担者の別			研究期間
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C)	婦人科がん体験者が女性性の危機を乗り越えるための心理学的支援モデルの構築(研究代表者)			2014.4~2017.3
2	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C)	看護師のキャリア開発に資するPBLを活用した教育プログラムの検証(研究分担者)			2014.4~2018.3
3	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C)	地域包括緩和ケアの充実に向けた家族への教育支援プログラムの開発(研究分担者)			2016.4~2019.3
3. 教育業績					
	講義・演習・実習・論文指導等の名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
(1) 講義					
1	成人看護学Ⅳ	2015.12	呼吸器疾患患者への看護について、視聴覚教材や事例を用いて授業を行った。		

2	リハビリテーション看護	2015.10	障がい受容をテーマに、障がい者の心理的プロセスの理解を深めるため、視覚的教材や理論を用いて授業を行った。
3	がん看護	2015.10～2015.11	がん医療の基本的知識をはじめ、最新情報を盛り込み、講義だけでなく演習を取り入れて授業を行った。ほか、ゲストスピーカーにがん体験者をお招きした。
<b>(2) 演習</b>			
1	カウンセリング技法	2015.11	初学者向けの臨床事例を用い、コミュニケーションの基本となる傾聴技法について演習(一部、講義を含む)を行った。
2	成人看護学Ⅲ	2015.12	PBLを用いて周手術期患者の看護過程の学習を促すための支援を行った。
3	臨床看護実践	2015.4	臨地的な看護場面を設定し、看護実践能力を養うような演習展開を行った。
4	IPW演習	2015.10～2016.1	グループワークが円滑に進むように、助言し関わった。
<b>(3) 実習</b>			
1	成人看護学実習Ⅰ	2015.5～2015.6	3年生を対象に、外科病棟を使用して8週間(2週間×4クール)の臨地実習指導を行い、個別性を踏まえた周手術期看護の理解を促すように関わった。
2	成人看護学実習Ⅲ	2015.9	災害看護の理解を深めるために、救急に必要な看護技術演習および、災害に関する机上シミュレーション、教護所設営とトリアージの体験を設定し学習を支援した。
3	総合実習	2015.5～2015.6	4年生を対象に、外科病棟を使用して3週間の臨地実習指導を行い、自己課題が達成できるよう支援した。
4	IPW実習	2015.10	教員FTとしてグループが主体的に課題に取り組めるよう支援した。
<b>(4) 論文指導</b>			
1	該当なし		
2			
3			
<b>(5) その他</b>			
1	認定看護師教育課程の講義	2015.11	がんサバイバーの心理的プロセスと支援のあり方について理解できるように、当事者体験ワークや視聴覚教材、研究成果、患者会支援活動に関する講義を取り入れて授業を行った。
2			
3			
<b>4. 社会貢献活動</b>			
<b>(1) 講演会、研修会等の講師</b>			
	講演会、研修会等の名称	主催	講演、研修等のテーマ
1	該当なし		
2			
3			
<b>(2) 国、自治体、財団法人等における委員等</b>			
	国、自治体、財団法人等の名称	委員等の名称	任期
1	該当なし		
2			
3			
<b>(3) ジャーナリズムでの発言</b>			
	メディア等の名称	内容	年月
1	該当なし		
2			
3			
<b>5. 学内運営(委員会委員)</b>			
1	該当なし		
2			
3			
<b>6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)</b>			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
<b>7. 特許の保有状況</b>			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
<b>8. 特記事項</b>			
	該当なし		